

ふじやまだより



本郷ふじやま公園

本郷ふじやま公園
運営委員会発行

本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます

古民家で幽玄の世界再び

第2回能舞・能管コンサート

10月22日(土)午後6時半から7時半まで古民家主屋で第2回能舞・能管コンサートを開催します。古民家のどっしりした檜の大黒柱と大きく曲がった松の箴子梁の見守る舞台は幽玄のコンサートにふさわしい場といえます。出演は熊谷眞知子金剛流能楽師と根岸啓子能笛奏者ほかをお願いしています。今年のテーマは「平家の武士たち」で仕舞曲目は「敦盛」、「経正」、「清経」、それと創作舞「祈り」です。



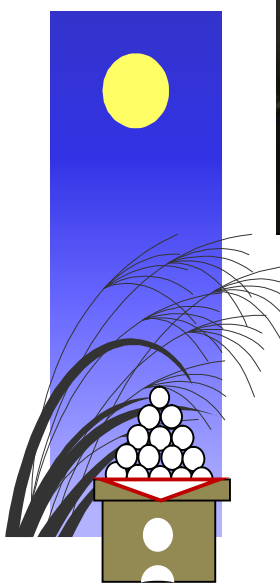
秋の夜のひと時を古民家で伝統芸能を楽しんでは如何ですか。鑑賞(無料)希望の方は往復はがき1枚に1名、コンサートと書いて氏名、郵便番号、住所、電話番号を記入して本郷ふじやま公園コンサート係へお申込み下さい(10月8日必着)。また、10月17日(月)から22日(土)まで、お月見飾りを主屋居間にお供えします。

公園ウォッチング



節電の夏も終わり朝晩は涼しさを感じられるようになってきたが、冷たい物が喉に心地よい日々はまだまだ続きそうだ。

夏のような公園の日差しから逃れ里山へと足を進めて行くと、そこでは行く夏を惜しむように蝉が大合唱をしていた。木漏れ日が注ぐ雑木林を仰いでみると、いつごろ孵化したのだろうか、こげ茶色になった古い蝉の抜け殻が小さな枝に必死にしがみつような格好で風に揺れている。はかなさや物のあわれを表すものとして古くから歌に詠まれ、有名な物語の中にも登場する「空蝉」の寂しげな姿が、そこまで来ている小さい秋を感じさせてくれた。“誰かさんが、誰かさんが”と口ずさみながら竹林を経て弓道場へと下っていくと、上郷の空にはいわし雲がかかっていた。



炭焼窯を補修

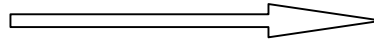
ふじやま公園の炭焼窯は平成16年1月に使用を開始し、7年余り経過しました。その間秋から春にかけて月1～2回、主に竹炭を焼いてきました。1回の炭焼きで竹炭約30kgが焼けますが、その都度小さな補修を行ってきました。しかし天井部に大きな割れ目が目立つようになり、今年8月の暑い日、里山部会の有志数人で補修を行いました。割れ目に水で練った荒木田土を少しずつ詰めていき最後の仕上げの塗りを行いました。外側に引続き内側も補修を行いました。今後さらに煙突部の補修を予定しており、これが終われば当分の間は使用できるとのことです。



補修前



補修後



内蔵の宝 灯明台

台の上の皿に油を入れて藺草(いぐさ)の灯芯に火をつけて明かりを得ました。写真では皿の左側に紙で作ったこよりをおいて灯芯にしています。これひとつではとても暗くて、昔の人はこれでほんとうに生活できたのだろうかと思われまます。読書や縫い物などは灯によほど近づかないとよく見えなかったのではないのでしょうか。

火をつけてしばらくして芯が短くなったら、芯を少し押し出せばまた明るくなります。この操作を「芯を掻き立てる」といいます。芯を皿の中で抑える陶器の「掻き立て」もありました。またかなりすすが出るので、しばらく使っていると家の中がすすけてきます。昔は年末の大掃除のことを「すすはらい」と呼んだのはこのためです。箱の前面は俵飰(けんどん=慳貪とも)と呼ばれる構造で、蓋を上からはめ込むようになっています。出前の岡持ちと同じ構造です。

内蔵にある灯明台にはこの蓋はなくなっています。

なお裸火では風で消えてしまうし、全体を照らすために周りを紙で覆ったのが行灯ですが、紙に光を吸収されてさらに暗くなったことでしょう。



ふじやま公園の植物

ヤマホトトギス ユリ科

山地や丘陵に生える多年草。北海道西南部から全土、朝鮮半島、中国に分布する。ホトトギスよりやや小さく高さ30～70cm、葉は互生し長楕円形(8～15cm)茎の下部の葉は茎を抱かないが中部以上からの葉は茎を抱くように互生する。7月から9月、頂や茎の先に花序を伸ばし白地に紫色の斑のある花を咲かせる。花被片は強くそりかえるのが特徴。



【夏休み歴史講座】 漂流・遭難・救出・送還

アメリカの捕鯨船の友愛と勇気そして幕末日本の決断(後篇)

辻 登

マンハッタン号来航の8年前の天保8年(1837)に、幕府は異国船打払令に従い日本の漂流民7名を乗せて浦賀に来たアメリカのモリソン号を砲撃し、日本人漂流民と共に追い返しました。

世界の非難は高まり幕府として異国船にどのように対処すべきか困惑の最中でした。幕府は清国がアヘン戦争で敗北し悲惨な国の状況を見ると強力な軍事力を持つ外国と争い異国船を打ち払うという武力行為よりも薪水供給により円満に入国を断る方が得策との考えに変化しつつありました。天保13年(1842)には薪水給与令が出されました。これは異国船に燃料・水・食料を供給し穏便に日本を離れさせようというものです。



このような状況の中、マンハッタン号は弘化2年(1845)3月11日に浦賀湊に入ってきます。すでに安房国に上陸させていた漂流民からの情報が入っていた徳川幕府では首脳の会合や浦賀奉行との協議が積極的に行われました、浦賀奉行江戸詰・土岐頼旨は「今回送還の日本人は渡航者ではなく海上での遭難者であること南部船には10歳の子供も含まれているなどから受け取ることで寛容で慈悲ぶかい国のイメージも必要」と意見書を提出します。老中首座阿部正弘がこれを聞き入れ浦賀奉行浦賀在勤・大久保忠豊とさらに協議を行い22名の遭難者の引き取りを了承します。クーパー船長と捕鯨船には燃料・水・食料そして日本人送還のお礼の数々を贈呈し謝意を表しますが、一方再び浦賀に来ないことを約束させ浦賀から送り出します。送還途上を共に過ごした異国人と日本人は抱き合って別れを惜しんだといわれています。

小岩井家文書のなかに御賞美筋一条之記(写真)という小岩井六郎兵衛の記録がありますが、この中には名主としてマンハッタン号対応のために貢献し表彰された記録が残っています。本郷ふじやま公園の内蔵に展示されています異国船の絵にはこのようなエピソードがあります。ぜひお越しいただきマンハッタン号の絵をご覧ください。

平成23年10月度ボランティア活動予定

部会・事項	日 程	部会・事項	日 程
事務局会議	7日(金)	古民家歴史部会 部会	9日(日)
農芸部会 部会	17日(月)	古文書解読勉強会	2日(日) 23日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	6日(木)
里山部会 作業	8日(土) 15日(土) 23日(日)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます
工作棟部会 部会	26日(水)	クリーンアップ	4日(火) 18日(火)
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	8日(土)
ホームページ制作打合せ	2日(日)	印刷	15日(土)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 896-0590)へご連絡下さい。

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
炭焼き体験教室 (全3回)	10月8日(土) 9時～12時 9日(日) 8時～16時 15日(土) 9時～12時	自分の手で竹炭を焼いて みませんか (窯詰め、火入れ、窯出し)	無料	9月30日(金) 10名 3回とも参加で きる方
作って遊ぼう～ 子ども工作の日	10月16日(日) 10時～12時 13時～15時	クルクルスネークを作ろう	無料 当日受付	10時～11時 13時～14時 先着各15名
布ぞうり作り	11月8日(火) 10時～15時	一日で一足完成します	500円	10月20日(木)
押し絵 (全2回)	11月9日(水) 13時～16時 22日(火) 13時～16時	来年の干支「辰」を作ります	1,500円	10月25日(火)
絵手紙もどき (全2回)	11月15日(火) 13時～15時 12月20日(火) 同上	次に逢う日の話題を提供す る	無料	10月31日(月)
第70回初心者 茶道体験教室	11月19日(土) 13時～16時	古民家で茶道を楽しんで みませんか。初心者大歓迎 平服でおいで下さい	500円	10月31日(月) 10名
里山のそば打ち 塾	11月26日(土) 10時～12時	新そば粉で作ります 初心者でも美味しいそばが 打てます	800円	11月10日(木) 6名

(1)持参品：返信はがきで連絡します。(2)定員：12名。応募者多数のときは抽選

(3)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

収穫祭

・・・お知らせ・・・

日時：11月12日(土)11時 受付開始 10時30分 雨天時13日(日)
小雨でも決行の場合があるので、公園に問い合せて下さい。

場所：農園

内容：サツマイモ、サトイモ掘り体験 小学生30名(先着順)
石焼き芋券・ふじやま鍋券 各100円(先着順 各150名)
収穫野菜プレゼント(抽選)

参加費：無料



第10回古文書講座 日時：10月29日(土)13時30分～15時30分

場所：古民家主屋 詳細は10月号でお知らせします。

8月ふじやま公園来園者数 908名 年間累計 8,748名

・開館時間：	9:00～17:00
・入館料：	無料
・休館日：	10月5日(水)
・クリーンアップ：	10月4日(火)18日(火)10時～11時

ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL: 896-0590 FAX: 896-0593

「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ